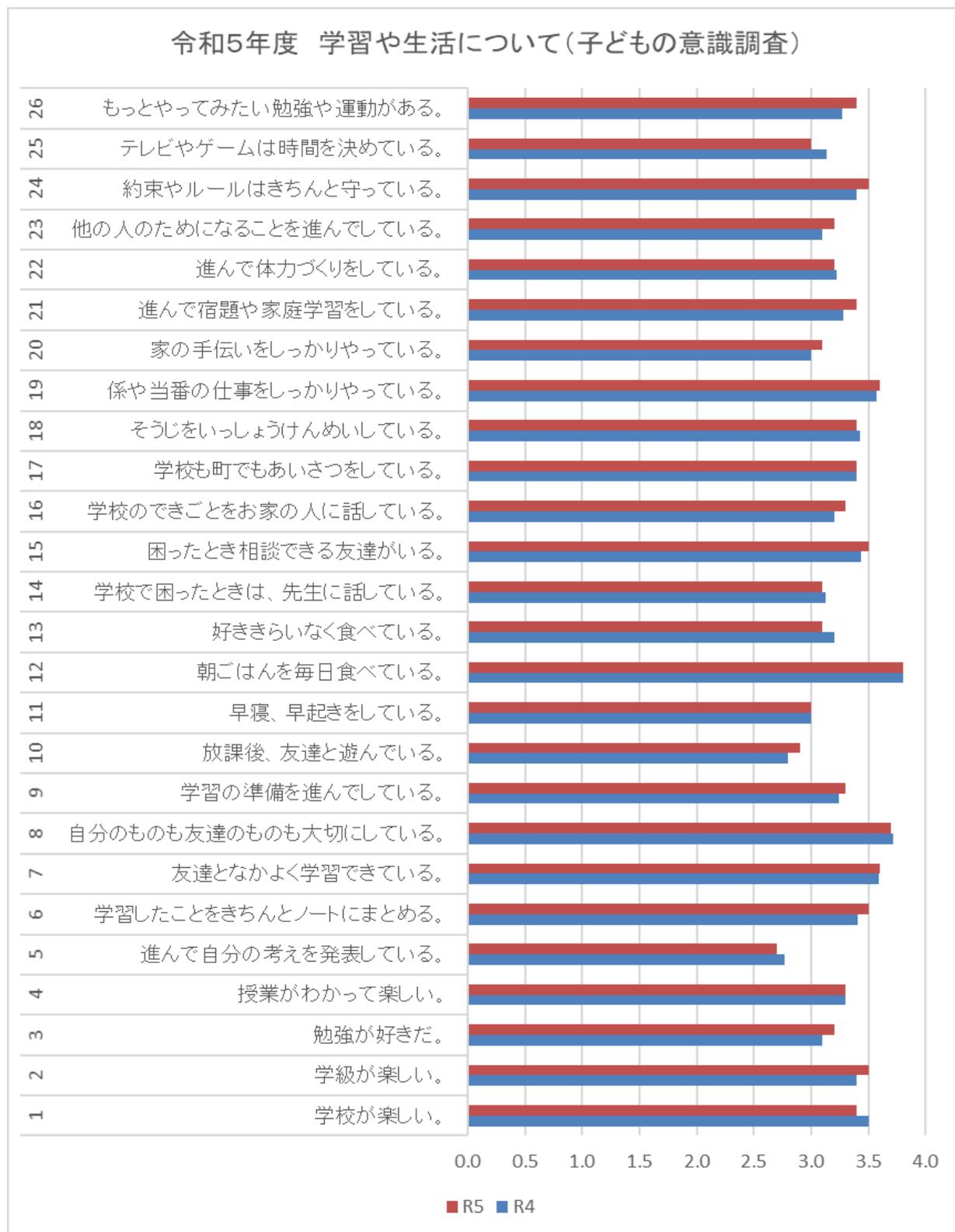


令和5年度 学校評価アンケート（児童全体）

4：そう思う　　3：少しそう思う　　2：あまりそう思わない　　1：ほとんどそう思わない



上のグラフは、評価ポイントの平均値、令和4年度、令和5年度を並べたものです。前年度よりもポイントが上がった項目が多くありました。数値で見ると、鶴の子にとって項目5が改善すべき課題であると思われます。自分の考えを伝えたいくなるような工夫や、自分の考えを伝える場面を多く取り入れた授業展開が必要です。

令和5年度 学校評価アンケート（全校保護者）

4：そう思う 3：少しそう思う 2：あまりそう思わない 1：ほとんどそう思わない

調 査 問 題		3年度	4年度	5年度
学 習	学校の勉強のことを話すか。	3.0	2.9	2.9
	宿題、予習・復習をしようとする姿勢が見られるか。	3.0	2.9	3.0
	学年相応の「読む」「書く」「計算する」基礎的な学力が身に付いているか。	3.2	3.2	3.5
	勉強への意欲や興味・関心があるか。	3.1	3.0	2.9
健 康	規則正しい生活習慣が身に付いているか。	3.2	3.2	3.1
	身の回りの衛生（つめ・ハンカチ・衣服など）に気を付けているか。	3.1	3.1	3.1
	好き嫌いをしない食習慣が身に付いているか。	3.0	3.0	3.0
	学年相応の体力がついているか。	3.3	3.2	3.3
心 情	挨拶が進んでできるか。	3.2	3.1	3.2
	粘り強く物事に取り組んでいるか。	3.0	2.9	2.9
	幼い子やお年寄りに温かく接する態度が育っているか。	3.4	3.4	3.5
	善悪の判断など、社会生活に必要な道徳性が育っているか。	3.4	3.5	3.5
	いろいろなことにチャレンジするようになったか。	3.2	3.0	3.1
開 か れ た 学 校	先生方は、子供たちのことを理解して教育活動に取り組んでいるか。	3.5	3.3	3.4
	先生方は、分かりやすい授業を心がけ、工夫して授業をしているか。	3.4	3.4	3.4
	「学校だより」や「学年だより」では、学校の様子を伝えられているか。	3.4	3.3	3.3
	けがや事故に対する保護者への連絡や処置は適切か。	3.5	3.4	3.5
	いじめの未然防止や早期発見、早期対応等に適切に取り組んでいるか。	3.2	3.1	3.1
	地域の方々の支援や連携を大切にして教育活動を進めているか。	3.5	3.3	3.5

（令和5年度 回答率 51.0%）

3.5…前年度よりポイントが上がった項目

3.0…前年度よりポイントが下がった項目

児童に関する調査では、前年度に引き続き「幼い子やお年寄りに温かく接する態度」、「善悪の判断・道徳性」の項目が良好でした。また、「学年相応の基礎的学力の定着」の項目が、昨年度に比べて0.3ポイントと大きく向上しました。コロナ禍前のように、皆で考えたり話し合ったりして学習できるようになったことが、大きく影響していると考えられます。

学校、教職員についての調査では3項目でポイントが向上しており、多くの項目で高評価を得ることができました。昨年度と数値が変わらなかった項目については、引き続き職員一丸となって取り組んでまいります。

全体的に見ると、「勉強への興味・関心」、「物事に粘り強く取り組む態度」の項目についての評価がやや低く、学びに向かう姿勢が今後の課題になると思います。現行の学習指導要領では、育成すべき資質・能力の三つの柱の一つとして、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養が挙げられています。学ぶ楽しさや学ぶ意義を子供たち自身が感じられるような工夫や、キャリア教育の一層の充実が必要です。

令和5年度 学校評価アンケート 保護者の声

(以下に記載したものは、ご家庭から頂いたご意見の一部です。貴重なご意見を多数いただき感謝申し上げます。次年度の課題として改善したいと思います。)

- イベントなど子ども達のことを考えた物が多く、とても皆様親切で優しく、子どもも楽しんでおります。とても感謝しております。
- いつもお世話になっております。先生だけでなく、お友だちにも恵まれ、毎日安心して登校させることができいております。今後ともよろしくお願い致します。
- 台風の日にまで登校時に校門前に校長先生が立ってらっしゃったのを見て驚きました。他の先生方も登下校時に見回って頂いたり、雨の日も風の日も暑い日も寒い日も、子供たちを見守って下さりありがとうございます。夜遅い時間まで先生方が残っていらっしゃるのも感謝しかありません。ちゃんと休めているのでしょうか？お身体には気をつけて頂きたいなと思っています。
- 子どもとの会話から充実した学校生活が伺えます。ありがとうございます。
- 楽しく通わせていただいております。困ったことにも親身になっていただき、先生方々にはいつも感謝しております。ありがとうございます。
- 高学年の児童と一緒に委員会や朝のボランティア活動などを行って来て、我が子も学校のために自分ができることを頑張っていて、成長を感じます。ありがたい役割です。つるフェスでPTAとして運営しましたが、児童から「ありがとうございます」の言葉をもらい、素直にゲームを楽しむ姿を見て、学校全体の雰囲気がいいねと、役員とサポーターの方々と話題になりました。
- 毎朝、どんなお天気でも子どもたちが安全に登校できるように見守ってくださる、地域の方々に感謝します。元気に挨拶する習慣にもつながっていると思います
- 登下校中に会うとにこやかにあいさつをしてくれる子ども達があります。健やかな鶴の子達につられて、私も笑顔になります。ささやかなことですが、日常での過ごし方や学校の様子が察しられます。いつもあたたかなご指導、ありがとうございます。

△月曜日の下校時間を学年だよりに記載してほしいです。(クラブ活動、委員会の有無により下校時間が異なるため)

⇒委員会活動、クラブ活動がある月曜日は、通常の6時間授業の下校時刻と同様です。今後、月曜日の下校時刻について、学年だよりに掲載します。

△登下校時の子どもたちの歩きスマホが気になります。親御さんに連絡しているのかもしれませんが、歩きながらは危険です。今一度学校でお話ししていただけたらと思います。

⇒携帯電話やスマートフォンを持参させている場合は、各ご家庭でルールの徹底をお願いします。学校でも呼びかけます。

△登下校時や放課後の公園等で、道路を広がって歩いている、ゴミを捨てていることもありました。

⇒「公共」について、引き続き指導していきます。

△登下校、道路に3～4人横並びでの通学は交通事故に遭う危険性が大である。ご指導ください。インフルエンザウイルス感染症対策を強化してください。宜しくお願い致します。

⇒交通安全については学校でも引き続き指導いたしますので、各ご家庭においてもお話しください。感染症対策については、空気清浄機の運転やCO2モニターを活用した換気をするるとともに、うがい・手洗いの励行等、引き続き児童自身の感染予防の意識を高めてまいります。

◇年間を通して購入、準備が必要となるものについては年度はじめに教えていただけると準備しやすいです。面談など出欠席などに関しては紙媒体ではなく電子媒体にいただけると管理がしやすいと思います。

⇒年度初めにまとめてお知らせできるものもありますが、その都度必要となるものもありますので、余裕をもってお伝えできるようにします。なお、面談希望等の電子化は、今のところ保護者とのやり取りの方法がすぐーのみですので、難しい状況です。

◇アフタースクールをやってほしい。家以外の居場所がもう少しあれば助かります。

⇒現時点では、令和9年度より開始の予定です（千葉市の計画）。

◇3年生になり、ひとクラス23人位から、急に36、7人は多いと思います。子どもたちも先生も負担なのでは？と感じます。先生も給食時等、素早く準備が出来るように工夫してくださっていて、ありがたいです。子どもからも聞いています。国の基準等もあるかと思いますが、4年生は、3クラスになることを望みます。

⇒「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で学級編制の標準が定められておりますので、残念ながら学校の判断では増やすことができません。

◇コロナが5類になったことを機に、社会の様々な場面で制限が解除されていますが、学校行事の運動会や入学式、卒業式の在校生出席、バザーなどのPTA活動は、来年度から再開する予定はあるのでしょうか。

⇒運動会は今年度より全校で実施しました。卒業式については4・5年生が参加し、入学式は6年生のみが参加の予定です。バザー等はPTAで協議し、実施の有無を決定していきます。

◇ギガタブが身近になり、タブレット端末が生活の一部になりました。夢中になることがあるのは良いことですが、一方で、我慢ができない、時間制限を守れないなどが起きているのも事実です。また、操作はできてもローマ字入力は出来ないなども気になります。下校後の子どもの安全な居場所がなくて困っています。不審者情報も日々流れてくるので、校庭や図工室、図書室など、開放してもらえると嬉しいです。

⇒ご家庭でのギガタブの使用につきましては、ルールを決めてご家庭でご指導いただければ幸いです。ローマ字入力につきましては、次年度朝の時間に各学級で取り組むことを計画しております。放課後の校舎内は開放していませんが、以前より校庭は開放しておりますので、ご利用ください。

◇日頃考えていることをひとつ述べたいと思います。日本全国初と思いますが、不登校の生徒を対象とした〈夜間小学校〉の開設です。先生方は多忙なのでスキームを作るだけで、教えるスタッフはボランティア（退職教員がメインとなる）。兎に角 ACTION FIRST で。

⇒今年度、市内に夜間中学校が開設いたしました。義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、不登校などにより十分な教育を受けられなかった方などで、学び直しを希望する方が学ぶことのできる学校です（国籍問わず）。小学生対象としては、千葉市教育センターで、それぞれの状況に合わせて社会的自立へのサポート事業を行っております。また、各区にある千葉市教育支援センター「ライトポート」では、小・中学生を対象に小集団の体験を通して社会性を育み、自分のペースで適応力を高める支援をしております。なお、今年度より、全「ライトポート」に小学生専用の教室を設置し、よりきめ細かな支援を行っています。

これらの結果を真摯に受け止め、今後の鶴沢小学校の教育活動に生かしていきたいと思います。ご多用の折、ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。